



令和8年度高山市立山王小学校 学校経営全体構想

◇学校の教育課題

- ・多様な他者理解と協働
- ・自己表出する意欲と技能
- ・心を整える生活習慣
- 食事（給食残量）、運動、睡眠

◇児童のよさ

- ・子どもらしい明るさを持っている
- ・素直で協調性を大切にしている

◇学校の教育目標

ひとり歩きができる子
考える子 やさしい子 元気な子

◇育てたい資質・能力

**多様性を尊重し、
願いをもって動く力**

◇高山市 教育の方針と重点

【願い】郷土高山に根ざした心に残る教育を創造する

【方針】未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成

【重点】主体的・対話的で深い学び
対話から議論！より深い学びへ
一人ひとりに合った学びの実現

◇合言葉 **みつめよう やってみよう**

<多様性>みんなちがってみんないい

(一人ひとり、学校に居場所がある)

<社会性>みんな同じでみんないい

(思いやりと元気いっぱい学校にしよう)

○児童理解に徹する → 困り感の理解・支援方法
共通理解・共通行動(学校・家庭)

○「よさ」や「できる」を生かす

→ 自己肯定感 UP → 不登校・いじめ防止

<具体的取組>

特支学級・通級・どんぐりっころームの
一体的支援

○自ら願いや問いを見出す

○対話や議論によって見方・考え方を深める

○個に応じた追究・課題解決

<具体的取組>

- ・個別最適化（教育 DX 活用）
- ・目的、相手意識のある対話の充実

特別支援部

学習指導部

心を整える

生活指導部

保安指導部

○なりたい自分 → 新しい挑戦

○自分も仲間も大切にする（他者理解）

○心を整える生活習慣と環境づくり

<具体的取組>

- ・行事、学級、期ごとの PDCA の位置付け（点ではなく線で）
- ・いじめ未然防止授業・対話確保

○自他の心と体を大切にする

○安全について多様な知識・経験

○すすんで体力作りに挑戦

<具体的取組>

- ・児童の実態把握と児童主体の活動
給食、休み時間の運動遊び、睡眠
- ・危険予知力を身に付ける体験活動

働き方改革の推進

教職員一人ひとりが働き方・働きがいを **みつめよう・やってみよう**

対話と協働・気働き

授業力を高める教員

- ・授業について語り合える職員
- ・意図的・計画的に授業を仕組み、授業準備を整え、実践・評価
- ・個別最適化/教育 DX の試み
- ・相手意識のある授業/対話/議論

生徒指導ができる教員

- ・率先垂範（やってみせる教師）
挨拶、時間、思いやり行動
明るく大きな声、言葉遣い
- ・個と向き合う時間の確保
- ・将来を見通す（キャリア指導）

いじめから絶対に守る教員

- ・アンテナ高く偏見、差別を見逃さない教師
- ・相手意識（ひと手間かけた配慮）
メンタルケア指導
- ・組織対応で、早期解決

地域と共にある学校

- ・学校運営協議会の効果的な運用（情報共有→意見交換→協力体制の構築）
- ・地域を最大限に活かすカリキュラムマネジメント（郷土教育・総合的な学習カリキュラムの充実）
- ・子供の成長と家庭の教育力を高める P T A 活動